

〔箋注倭名類聚抄男一女〕萬葉集和良波用小子小童童子小兒等字新撰字鏡僮字婉字同訓按和良波謂童子未結髮加冠被髮蒙茸然也蓋謂十歲前後者後世狀被髮酣戰者爲大和良波亦卽此也
○中 所引玉藻篇注文按說文童男有鼻曰奴奴曰童女曰妾僮未冠也二字不同干祿字書經典皆以童爲未冠之稱以僮爲奴僕之字互易今不可改

〔倭名類聚抄老二幼〕和頁 倭子 文選東京賦注云倭子倭子忍反 倭子讀師說和頁 童男女也童男呼乃和 童女乃女

〔箋注倭名類聚抄男一女〕按和良波閉之閉者牟禮之急呼部字之義謂群也今俗訛和良无倍略○中所引薛綜注文李善注載之略○中 按和良倍亦和良波倍之急呼也

〔類聚名義抄人〕振音之仁反 僮俗 倭子アラムヘ 〔同五〕童徒紅反 倭子アラハ 〔同七〕女孺メノアラハ

〔伊呂波字類抄人倫〕童アラハ 豎已上同未冠者也 孺亦作孺 倭子アラハ 兒同 〔同〕遠 童男ナノアラヘ 童女ナトメ 〔同人倫〕童女メノアラハ

〔伊呂波字類抄人倫〕童女イムコ 大嘗會供奉人名也 豎周禮註未冠者之稱漢書註童子也 孺子同 倭子同 兒遊仙 童郎童郎 倭僮童選註

〔日本釋名中〕童アラハ いまだ冠きざるを云わらはとはおらはの意冠きずして頭のおらはる意なりおとわと通ずへは助字なり又小兒はこのんでわらふものなればいへるにやからの書に小兒孩笑をしるといへり

〔古事記傳二十六〕童アラハ も髪をわくらかし居る故の稱なり今の俗言にも前髪マエガミ など云類なり
〔松屋筆記百三〕童兒